



市民の健全な頭脳とハートを 守ってくれる図書館司書

正置 友子さん
(南山台文庫主宰・絵本学研究者)

図書館は、全ての市民(赤ちゃんからお年寄りまで、健康である人・病気の人・主婦からビジネスマンまで)により良い暮らし・生き方ができるように情報を提供する場です。図書館は、吹田の未来を担う市民である子どもたちの想像力と創造力を育てます。図書館は、生活の知恵を探す場であり、静かなゆしみと安らぎを提供してくれます。吹田の図書館を一層よくするために、吹田の図書館司書をもっと増やし、市民の健全な頭脳とハートを守ってください。



吹田の図書館は、障害者に向けたサービス、よみかせや学校訪問、文献調査、講座の開催、HP、メルマガなど、高水準のサービスを提供しつつ、夜間・祝日開館など利便性の向上にも努めてきました。サービスを担ってきた司書を大幅に減らして委託化をすすめるようとしています。

図書館

知識と経験の積みかさね
「マンパワー」の仕事です



子どもの「食育」と安全に 給食調理員と校務員は欠かせません

新谷 武さん (西山田中学校PTA会長)

学期に食べる習慣をちゃんと身につける、この食習慣の定着は、健康面だけでなく、今話題の学力面にとっても大切に思います。「食育」の良き教材である学校給食は、日本の食文化、食と地域の特色のつながりなど、食の学びに大きな役割があります。給食調理員の削減には反対です。また、子どもが過ごす学校は、これから重要となる地域の教育力の拠点です。学校の安全面など維持管理を大きく担う学校校務員の削減にも反対します。



子どもたちが安全で安心して学校生活を送れるよう、施設管理・環境整備に努めている校務員を何校か「かけもち」に。また、栄養のバランスを考え、「食育」をすすめる、安全で豊かな給食をつくらせている給食調理員を各校から減らしてアルバイトばかりに。

学校

教育現場の職員が減れば
「子どもの安心・安全はどうなる?」



体育館 スポーツ教室など 吹田の体育が台なしのおそれ

吹田市は5つの市民体育館に専門の職員(体育指導員)を配置して、子どもから高齢者まで年齢に応じたスポーツ教室の開催などで「健康づくり」をすすめています。ところが、指導員をはじめとする全職員を引き上げて、すべての施設を民間に(指定管理者制度導入)。



市民の気持ちを反映した 心ある運営を

峰岡 智子さん (千里山竹園1丁目在住)

主婦になってから運動とは無縁でしたが、「体育館のエアロピクスに行ってみない?」との友人の誘いがきっかけでした。吹田で本当によかったと思っています。体育施設、指導員の質の高さ等、吹田市のように充実したところはありません。民営化の推進はこうした価値ある市民の財産を台なしにしてしまいます。決して施設を空虚な箱にしないでください。閑散とした状況ならまだしも、教室の盛況ぶりは一目瞭然です。今後とも、市民の気持ちを反映した心ある運営をお願いいたします。



これはけっこうダメージキツイで!!

この子が小学校に入るころにはど〜なってるんやろ?

職員さんさんの人 減らされたら 市民サービスもポイ捨てなん!?

市民の声から実現した
市民サービスが捨てられる

保育園

こどもたちの成長・発達には
多くの専門職員が必要



共働きの親が安心して預けられる保育園は、育児教室の開催や育児相談などで「地域の子育てセンター」に。新しくオープンした「こども支援交流センター」も、こどもの成長への不安に応えています。そんな保育園・通園施設から保育士や用務員(給食調理等を担当)、訓練士を減らすというのです。



先生を減らさないで!!

大城 緑さん (いずみ保育園保護者)

産休明けから、いずみ保育園に入所した息子が高1になりました。今、4歳の娘が同じ保育園に行っていますが、先生の人数が少なくなっているのにビックリします。朝夕の送り迎えの時にゆっくりに先生と話すことも長男の時に比べてすいぶん減りました。娘は家で私のことを「せんせ〜」とまわがって呼ぶくらい先生のことが大好きです。そんな先生たちは今でも忙しそうにバタバタしているのに、これ以上減らされると、こどもの園内での安全が守られるのでしょうか?とても不安に思います。安心して、こどもを預けて働き続けられるように、先生をもうこれ以上減らさないでください。

市民課

アルバイトは窓口には
職員は管理部門に?



転居・婚姻・出産などの届出受付や、住民票などの発行を行っているのが市民課です。市民課からさらに児童手当をはじめ他の窓口にご案内することも多く、生活に関わる様々な質問が寄せられることもしばしば。ところが市民課の窓口は「アルバイトで十分」と職員を半減するというのです。



「公務員」だから安心して 相談できるのです

射場 満江さん (山手町在住)

最近よく市民課をはじめ、市役所の窓口でお世話になります。市役所の窓口では、家庭のことや個人的なことなど他人に知られたいくないようなことも相談します。住民票や戸籍のことやいろいろな手続きのことなどを聞いても、いつも親切丁寧に対応していただいています。公務員には守秘義務もありますし、市民のくらしを守るが一番の仕事である市役所の職員だから、大事な個人の情報も安心して任せられるのです。十分な研修もなく、雇用も不安定なアルバイトでは相談をためらう人もいないのではないでしょうか。

福祉

高齢者・障害者に対する
地域福祉のネットワーク
づくりはできるの?



吹田市では市内各地域に地域保健福祉センター・地域包括支援センターを設置して、民間事業所や地域の福祉団体と連携して地域福祉のネットワークをつくらうとしています。このように、地域に密着した取り組みをすすめる時に、担当する職員をバツリ削るというのです。



住み慣れたまちで暮らしたいから 職員を減らさないで

山本 智光さん (特別養護老人ホーム いのこの里)

高齢者の生活問題は多様化していますが、生活相談の総合窓口として、地域包括支援センターの機能は、大変重要です。その機能は、吹田市が直接運営するからこそ、横断的な各種制度の活用をはじめ、民間事業者との連携により、高齢者のくらしを公的な責任の下、守られている現状があります。昨今は、高齢者虐待の問題においても積極的な役割を果たしています。高齢者が可能な限り住み慣れたまちで自分らしい暮らしを実現する地域包括支援センターの本来の役割は、職員が削減されると果たせなくなるのではないかと危惧せざるを得ません。



昔よりも年よりに風当り強いなーって思ってたけど気のせいちゃうな〜



けっこう私らにもしわよせがくるもんやね〜

550人も役所の人へったらね〜